秦荘図書館25周年、愛知川図書館・びんてまりの館20周年記念

講演会

愛荘町の図書館だからできること

～まちの過去と未来をつなぐ地域資料～

令和2年11月21日（土）

午後1時30分～3時30分（午後1時開場）

会場　愛知川びんてまりの館　視聴覚室
滋賀県愛知郡愛荘町市1673　愛知川図書館内
（要申込・TEL 0749-42-4114）

バス待合所（昭和39年ごろ）

第1部

『記憶を記録化へ ―世間遺産を活かしたまちづくり―』

渡部幹雄氏　元愛荘町教育長、和歌山大学名誉教授

1953年生まれ。故郷の大分県緒方町で公民館や博物館運営に携わった後、緒方町と長崎県森山町、愛知川町（現愛荘町）で図書館の開設に関わる。愛知川町立図書館・びんてまりの館館長、愛知川町史編さん室長、愛荘町教育長、和歌山大学図書館長・教授を経て現職。現在、大分県由布市で「由布の里自由大学」を準備中。著書に『図書館を遊ぶ』（新評論、2003）、『地域と図書館』（慧文社、2006）、『生涯学習概論』（学文社、2016）など。

第2部

『地域資料活用のためのデジタル戦略とは? ―時空を越える方法―』

福島幸宏氏　東京大学特任准教授

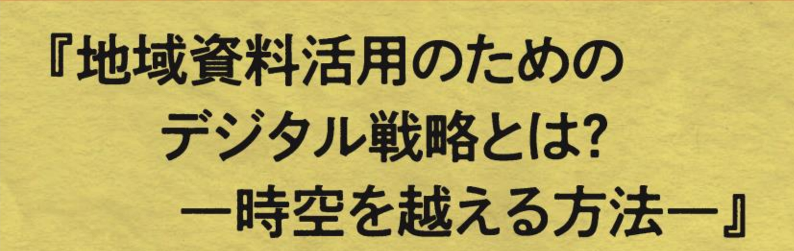
1973年生まれ。京都府立総合資料館・京都府立図書館を経て現職。京都府立総合資料館では、近代行政文書の文化財的修理・昭和期資料の公開・東寺百合文書の記憶遺産登録やCCBYでのweb公開を担当し、Library of the Year2014大賞を受賞。京都府立図書館では、サービス計画の策定・システム構築などに従事。共編著書に『「陵墓」を考える』（新泉社、2012）、『デジタル文化資源の活用』（勉誠出版、2011）など。

第3部

上映会

『タイムトラベル あいしょう』

図書館が所蔵する懐かしい町の風景の古写真を、司書の解説とともに紹介します。


田園風景（昭和32年ごろ）

主催：愛荘町立秦荘図書館、愛知川図書館・びんてまりの館